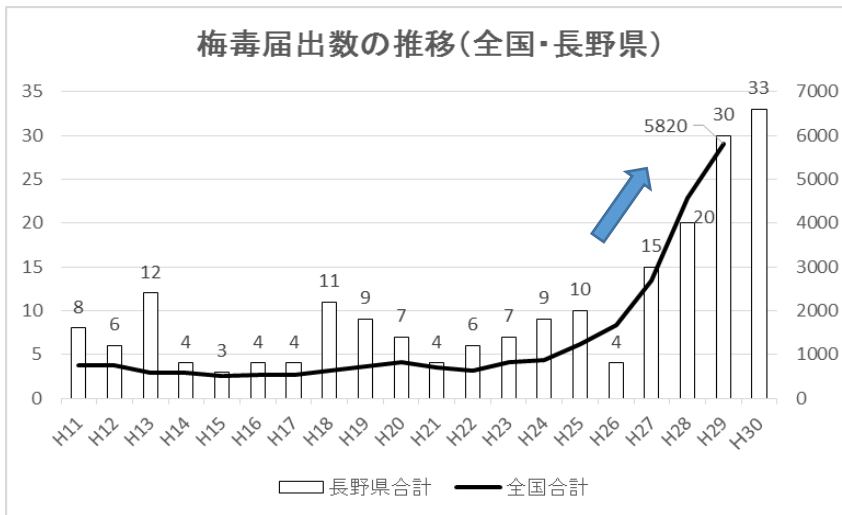


梅毒の届出状況について

○梅毒とは？

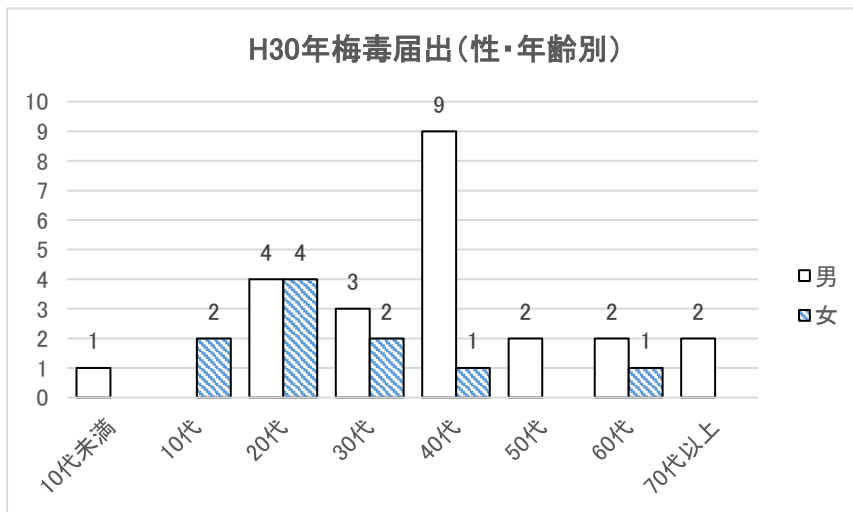
- ・梅毒トレポネーマという病原菌による感染症です。主な感染経路は、病原菌と粘膜や皮膚の直接の接触であり、性的接触などで感染が広がります。
- ・感染初期には痛みのない潰瘍が感染部位に形成され、治療せずにいると全身の皮疹・リンパ節の腫脹、数年～数十年後には血管や神経の障害等、全身に多様な症状をきたすことがあります。早期の薬物治療で完治可能ですが、治療が遅れると重大な後遺症が残ることがあります。
- ・妊婦の感染は早産や死産、胎児の重篤な異常につながる可能性があります。

○梅毒の届出数の推移



梅毒の届出数は全国で増加しており、当県においても同様の傾向が見られます。特にここ5年の県内における届出数は急激に伸びており、今年については40週現在で33件と、平成11年に感染症法による調査を開始して以降最も多くなっています。

○平成 30 年(40 週まで)における県内届出患者の傾向



男女ともに幅広い年代で流行していますが、男性患者は40代が9人と特に多く、女性患者は20代に多い特徴があります。

届出のあった患者の約半数は一般的に感染後3ヶ月以上経過し、バラ疹等の全身症状が出ると言われている早期顕症梅毒Ⅱ期の段階で診断を受けていますが、梅毒の感染拡大を防止するためには、感染の早期発見・早期治療が必要です。

～感染しない・させないために～

- ①コンドームは性行為の前から適切に使用しましょう
- ②皮膚や粘膜に異常がある等気になる症状がある時には早めに医療機関を受診しましょう

まずは検査を受けてみましょう！

★県内の保健所(県保健福祉事務所、長野市保健所)では匿名・無料で性感染症の検査(梅毒・HIV・クラミジア)を実施しています。

★検査は予約制です。まずはお近くの保健所(県保健福祉事務所、長野市保健所)にお問い合わせ下さい。